

## ■タイトル：

// Tech-Stack 2024

■課題内容を聞いて お題を最初を聞いた時は少しテーマ決めに時間が掛かったが、自分を表す物をリストアップしていく内に、だんだんとテーマが絞られ、結果的に 2024 年時点で使っている開発ツール、プログラミング言語等をテーマにしました。

■描いている間 色んなロゴやソースコードを見ながら描いている時、私は過去 6、7 年間のコンピューター世界の旅を思い出してきた。最初、本当にシンプルな言語で簡単なモノしか出来なかった時、親の勧めで行った Python 講座で刺激を受け、初めて入門書を買ってもらった時。よく読んでいた雑誌で紹介されていたシングルボードコンピューターの Raspberry Pi を買ってもらって初めて Linux に触れた時。初めて HTML を書いてどうやって Web に公開するか分からなかった時。低スペ環境でのゲーム開発の煩わしさを感じた時。シェルコマンドを学んでいるときのワクワク感。初めて GitHub でクソコードを世に晒したあの冬。ハイスぺパソコンを貰った時の何でもできる感。色んな Linux OS を 12 年モノノート PC で試めしていた春。初めて Linux サーバーを建てたあのドキドキ。プログラミング言語を学んで知識が留まっていった夏。普段使いの PC を完全に Linux にした達成感。C/C++、アセンブリを学んで探検したコンピューターの深層部。現地校の AP Computer Science Principal を最後まで無双した快感。Linux 環境を設定する中毒性。長いようで短かった、本当に濃い歴史であった。ちなみに、このレポートは作品にも描かれている  $\text{\LaTeX}$  と Vim で制作されました。

■自己分析 この作品はモノクロで、これは私がいつもコードを書いている白黒の CLI 環境（文字だけでパソコンの操作をする方法）を表わしている。所々書かれているプログラムの一部分はコンピューターの世界を旅している間に見つけた物、書いた物である。ロゴは関係する物同士で近くに描かれており、コンピューターに関する知識が多岐に渡っているという事を表わしている。

■ショートストーリー創作 私はこの作品を AP CSP と CS A/B の先生にみせた。

AP CSP Wow, you got alot to show there. (わぁ、見るべきところが沢山あるね。)

CS A/B I know why you can type up great programs: you are simply a wiz of programming! (君がどうして素晴らしいプログラムを書けるか分かった：君はプログラミングの魔法使いだ！)

AP CSP I would put you in AP CS A if I knew you have programmer's brain with deep knowledge. (もし私が君が深い知識を持ち合わせるプログラマー思考を持っていると分かっていたら AP CS A に入れていたかもね。)

CS A/B You could be a secondary teacher for our classes! (私の授業の副担任になってもいいかもね！)

AP CSP You have wide range of projects you can tackle on. I hope you'll get wonderful engineering job. (君は多くの分野でプロジェクトを遂行できるはずだよ。将来いいエンジニア職に就けるといいね。)

CS A/B Your future is limitless Kenryu! (君の可能性は無限大だ、健琉！)

とても暖かい言葉を貰えました。